

長浜コミュニティだより

発行人・長浜地区コミュニティ協議会
☎/FAX 09969-5-0048
令和4年度 最終号

第5回 檜の木見道を歩こう会



第五回 檜の木見道を歩こう会

令和五年二月二十五日(土)に、三年ぶりとなる歩こう会開かる。

参加者一〇三名の勇者達が緑地公園に集い、集落跡地目指して出発タ!

県外の熊本、志布志、市本土からの参加者に加えオーストラリアからの参加もあり、国際的なイベントになりました。

約二時間の登りの行程で疲れ切った体を癒すのは、花より団子でした。

飯の海の幸、山の恵などを堪能した一行の感想は、「うまかった」スタッフに感謝などなどで、この企画に賛同し協力をいただいた「高齢者クラブ」「般住民」の皆様には改めて感謝です。



お餅のおやつ



エビ・イカ・きびな焼けたよ

ロいっぱいに🏠



good・kasinoki



越路神社

ふるさと景観マップ 第3話

芦浜、長浜間にあった祠を昭和に入ってから地元有志によって建立。
一帯は広葉樹、針葉樹に覆われて本尊は神秘的な雰囲気醸している。
春には「つじ」「夏には「ハイビスカス」秋には「もみじ」冬には「椿」の花が咲き誇り通りすがりの地元民や観光客も足を止めて見入ることから、休憩処を隣接の花公園に設けた。

五〇年前までは、通学路生活道として歩いて長浜まで通っていた。数十メートルあった「石畳」道路の整備で車社会となり「遠い昔を懐かしむ」芦浜の人々。
また、古くは「タヌキ」伝説もあり子供が道草をしないよう親が逸話を作ったのではと考える。

生涯学習フェスティバル

二月二日（日）開催のブランド市へ海山物を出店

現地販売に携わった會長はじめ「売り子」たちの懸命の宣伝で、お昼前に完売しました。

途中で舞台の踊りや歌に合わせ、売り場を離れて踊りだす二名の方もおり、終始なごやかの中、昼食弁当にかたか「うもうなか」などと言いつつ完食。いつものように帰りは、車一杯の買い物で座る場所もないくらいの楽しい行商旅でした。



認知症対策講座

三月六日（月）地域ささえ愛関係者を対象に「認知症とは」と題して社会福祉協議会の専門職を招いて開講。

高齢化が進む中、三人に一人は疑いがあると、ふむふむと聞きつつ、物忘れがひどい名前が出てこない「これすなわち認知の始まりだと聞いて皆さん「エエ」驚きの一声。
指導する立場として、自身にも言い聞かせながら、巡回に向け知識を得た講座でした。

編集後記

令和四年度の「コミュニティー」だよりを発行するにあたり年度末等で掲載内容が遅れていることを、先ずはお詫びします。

五年度は、新たな執行部が発足し、振興計画、催しなど新規一転するのではと期待と不安に満ちた年になるのではと「下キドキ、ハラハラ」しています。

今回は、樫の木児道を歩こう会をメインに取り入れました。

